

令和6年度 青果物販売情勢について

令和6年8月28日（水）現在

【きゅうり】

関東抑制が出始めとなるが東北産露地物の減少幅が大きく入荷量は横ばいから微減となる見込み。台風通過後の出荷状況見通しが難しいことから相場は保合で様子見となっております。

【単価】 A 2600-2300 B 2300-2100

【ミニトマト】

相場を上げたことで売価も上昇となり末端からの引き合いは落ち着く見込みから相場は高値維持の保合となる見通しです。

【単価】 A L 200-170 A M 220-180

【ピーマン】

入荷量は横ばいだが、岩手産はバラ物中心に減少傾向が続く見込み。袋物・バラ物ともに末端からの引き合いは強い販売環境が続くため堅調相場で推移する見通しです。

【単価】 A L 90-85 A M 120-90

【インゲン】

各産地ともに低調入荷が続くが、9月上中旬頃に福島県産遅まき作の出荷が本格化する見込み。増量タイミングを伺いながらの販売環境となるため相場は保合となる見通しです。

【単価】 A 3800-3500

J A ふくしま未来
営農経済部園芸課